

野生動物の保全と管理のためのモニタリング法の開発と研究 ～研究成果を野生動物問題解決へ役立てる～

教員名：森光由樹（Yoshiki MORIMITSU）

連絡先メールアドレス：morimitsu<atmark>wmi-hyogo.jp

◎ どのような研究をされていて、どんなことに役立つのか？

●**遺伝的多様性の研究**：野生動物は、遺伝的多様性が減少すると絶滅する可能性が高くなります。国内に生息する野生動物は、過去生息域が狭められ、個体群が孤立し遺伝的多様性を失いました。複数の遺伝標識を用いながら、遺伝子交流をモニタリングし、保全すべき地域個体群の設定を行っています。研究成果は、野生動物の保全や管理に役立ちます。

●**バイオロギング・ドローンやウェアラブル端末を用いた生態研究**：

ウェアラブルカメラ端末やセンサーを野生動物に装着しデータ収集しています。これまで不明だった食性が解明されています。野生動物が農地へ出没する原因は何なのか？動物に装着した超小型カメラ映像やドローンによる映像から分析を行っています。研究を進める上で、生体捕獲やサンプルの収集は重要です。平行して研究開発を行っています。



◎ 最近の主な研究業績

- Morimitsu, Y. (2016) Evaluation of hair sampling conditions for wild Asiatic black bear (*Ursus thibetanus japonicus*) using hair snares: pattern of DNA degradation after hair removal and seasonal variation in the success rate of hair root DNA analysis. *DNA Polymorphism*: vol.24.1-7
- Morimitsu, Y. (2016) Evaluation of method to calculate the population size of wild Japanese macaques using fecal DNA. *DNA Polymorphism*: vol.24.69-72
- 森光由樹・福井大祐 (2016) 法改正に伴う野生動物医学の役割と未来～大きな変換期を迎えた野生動物対策～*日本野生動物医学会誌*. Vol.21-No.3/September.71-72
- 森光由樹 (2016) 住居集合地域等における麻酔銃猟許可に関する獣医師の今後. *日本野生動物医学会誌*. Vol.21-No.3/September.91-95
- 森光由樹「獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 コアカリ 野生動物学」, 浅野 玄・石塚真由美・高見一利・福井大祐・森光由樹・山口剛士 野生動物医学会編, 文永堂出版.
- 森光由樹 (2016) 捕獲と標識技術. 「野生動物管理-理論と技術-」増補版, 羽山伸一・三浦慎悟・梶光一・鈴木正嗣編 文永堂出版.

◎ 過去の大学院生の研究テーマ

野生ニホンザルの絶滅危惧個体群における遺伝的交流の把握

◎ 学生に向けて一言

野生動物を保全し管理するための研究は、海外と比べて遅れておりデータは不足しています。これまで野外研究を経験していない学生でも、大丈夫です。フィールド研究から実験室の研究までサポートします。